

令和4年度 事業計画書・予算書



一般財団法人新庄市体育協会

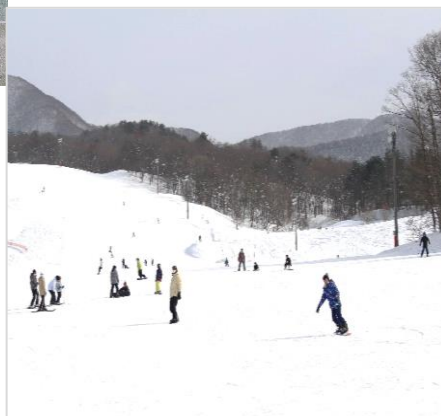
子供から大人まで



すべての人が豊かな



スポーツライフへ



目 次

○定款に定める体育協会の目的及び事業	1ページ
○令和4年度事業推進基本方針	1
1. スポーツ振興事業	
2. 施設管理運営事業	
3. 法人管理事業	
○令和4年度事業計画（案）	2～7
1. スポーツ振興事業	2
〔1-1〕 スポーツの普及推進に関する事業	
(1) 新庄市総合体育大会	
(2) 市民総スポーツ推進・健康づくり推進事業	
(3) こども・はばたき事業	
(4) 広報事業	
(5) 総合型地域スポーツクラブ連携	
〔1-2〕 育成強化、競技力向上に関する事業	3
(1) 育成強化事業	
(2) スポーツ少年団育成事業	
(3) 体育表彰事業	
(4) 最上地区共同強化事業	
〔1-3〕 サイクルスポーツセンター管理事業	
(1) 維持管理事業	
2. 施設管理事業	5
(1) 新庄市スポーツ施設指定管理事業	
(2) 最上中央公園指定管理事業	
(3) 新庄市都市公園管理事業	
(4) 新庄市公有財産管理事業	
3. 法人管理事業	7
(1) 内部統制の確立	
(2) 法人の健全・安定的運営	
○令和4年度予算	8～11
令和4年度予算書の概要	
予算説明	

定款に定める体育協会の目的及び事業

《目的》 新庄市のスポーツを振興し、市民の体力向上と健康の増進並びにスポーツ精神の高揚を図り、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

- 《事業》
- 1 市民スポーツの普及及び市民の健康づくりの推進に関する事業
 - 2 選手の育成強化、競技力向上に関する事業
 - 3 スポーツ施設及び市有関連施設の管理運営、整備に関する事業

令和4年度事業推進基本方針

令和4年度は、協会の目的に則して広く社会に親しまれるよう協会の名称変更について検討・協議するとともに、次に掲げる基本方針をもとに事業を推進します。

(1) スポーツ振興事業

市民がそれぞれのライフステージにあわせて、気軽にスポーツに親しむ環境を創出し、スポーツを通して市民の健康づくりを推進します。

- 市民が体力に合わせて楽しめる運動・軽スポーツの環境づくりを推進するため、新庄市とかむてんスポーツクラブとの検討を進めます。
- 運動・スポーツに親しむ機会の少ない子どもに、遊びを通じた運動の機会として幼児期からの“アクティブ・チャイルド・プログラム”(ACP)を推進します。
- 選手育成強化、市民スポーツ推進のカギとなる“指導者”を養成し、指導を継続できる環境づくりを進めます。
- 新庄市のスポーツイベントに積極的に協力します。

(2) 施設管理事業

施設の特性と利用者の安全を確保し、市民ニーズに柔軟に対応して、満足度の高いサービスを提供できる施設の管理運営を目指し、次に掲げることを実施します。

- 「公の施設」の管理運営における公共・公平と利用者ニーズとの整合・調和を図る役割を認識し、民としての柔軟性を発揮して公共施設サービスの提供を行います。
- コロナウィルス感染拡大防止対策、その他緊急時対応を確認し、安全安心を確します。
- 日常点検の徹底により危険箇所を把握し、必要な応急措置を講じて速やかに状況を報告し、効果的で効率的な修繕等の措置を提案します。
- 施設利用者の声を聴き、協会内での情報共有を徹底します。対応可能な事案については積極的に見直し、利用者の満足度を高められるよう努力します。

(3) 法人管理事業

市民目線からの公益増進の担い手という法人の役割を踏まえ、透明性の確保など公益的法人として求められる内部統制を果たし、事業の効率的執行に努め、将来にわたり安定的に経営を進めます。

令和4年度事業計画

1. スポーツ振興事業

〔1-1〕スポーツの普及推進に関する事業

(1) 新庄市総合体育大会 事業費 915 千円

新庄市の委託を受け、大会実施競技団体と実行委員会を設置し、スポーツを通じて交流する機会を創出、拡大するという原点を踏まえ、より多くの市民の参加が得られる実施します。

(2) 市民総スポーツ・健康づくり推進事業 事業費 796 千円

健康増進と世代間交流を図るため、幅広く、多くの市民が気軽に参加できるスポーツ・健康づくり事業を次のように実施します。

- ①自然の中で気軽に楽しめるトレッキング・ハイキングとしてノルディックウォーキング・杳蔵登山体験ツアーの開催（140 千円）
- ②誰にでもマイペースでできる有酸素運動であるステップアップ体操（リズムに合わせて踏み台を使った昇降運動）の教室の開催（206 千円）
- ③気軽に、現役世代も参加できる軽スポーツ「青空・ナイトヨガ」の開催（106 千円）
- ④家族・職場の仲間に参加できるスポーツ・レクリエーション「第8回市民エアバレー大会」を開催（145 千円）
- ⑤保育所・幼稚園児を対象とし、市及びサッカー協会と協働により陸上競技場芝生コートを会場にしたサッカーフェスティバルを開催（40 千円）
- ⑥一年を通じて「ウォーキング」を継続する意欲の形成のため、歩数記録用日誌の無料配布、完歩認定証の交付・記念盾の贈呈する「市民ウォーキング」の実施（64 千円）
- ⑦参加者の自発性を尊重した健康体操“あべじゅ～体操”の実施（45 千円）
- ⑧冬こもりがちな子供の遊び場提供と市民スキー場への親しみを深めるため、市民スキー場を会場に遊びを工夫した「第3回マジカルスノーランド」の実施（95 千円）
- ⑨第2回スポーツフォトコンテスト、その他必要に応じて臨機に事業を計画実施します。

(3) こども・はばたき事業 事業費 388 千円

少年期の体力低下と過度な運動の2極化など、子どもの体をめぐるさまざまな問題をみんなで考え、子どもを対象とした遊びを通じて体を動かす機会をつくり、運動が好きな子どもづくりを進めます。

- ①親子でスポーツに親しむイベント及び職員研修の実施（35 千円）
- ②日新小学校と新庄小学校の協力を得て体を動かすことが苦手な両校児童を対象に、遊びと運動の場として活動する“はばたきクラブ”の実施（353 千円）

(4) 広報事業 事業費 706 千円

- ①本市にゆかりのあるスポーツマンの活躍ぶりを広く市民に伝え、応援意識の一層の高揚と選手

への応援、身近なスポーツイベント情報、施設情報等を掲載し、読まれる「スポーツ誌」を目指した広報誌の発行（年5回発行予定・事業費550千円）

- ②広くスポーツ感動を伝えるスポーツフォトコンテストの開催（50千円）
- ③ホームページの管理運営、e-NE Tなどによる施設利用者へのサービス、各種様式のダウンロードサービス（106千円）
- ④本市スポーツ情報の集約機能を高めるため、加盟競技団体のホームページとリンクを張り、新規会員の発掘、加盟団体イベント情報の発信を実施

（5）総合型地域スポーツクラブ連携

総合型スポーツクラブ“かむてんスポーツクラブ”の目的と体協の主目的「市民へのスポーツの普及」とは一致しており、共に連携して市民へのスポーツの普及を図る必要があります。しかし、各々が課題を抱えながらも連携・協力の協議が進まない現状にあり、スポーツクラブの運営について市と本協会との3者により連携・協力の在り方を具体的に検討します。

■クラブ会員数の推移

H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3
4 7 8	4 3 6	4 0 6	3 7 4	3 2 2	2 9 8	2 8 4	2 4 2	2 3 4	2 1 5

〔1-2〕育成強化、競技力向上に関する事業

（1）育成強化事業 事業費2,614千円

- ①強化事業（育成強化事業費：11団体・予算額1,660千円）
競技団体の5か年計画による育成・強化・普及対策事業を対象に必要な経費の一部を助成します。概要は育成・普及・強化対策に取り組む団体にそれぞれ限度額150千円の育成強化事業費を交付し、目的を効果的に達成できるよう競技団体と検討を加えて進めます。
- ②基礎的運動機能強化事業
指導者及び選手を対象にしたスポーツ全般に必要な基本的運動能力を向上させるセミナーを開催するとともに、指導者資格取得のための費用を助成します。
 - 基礎的運動機能強化セミナー 174千円
 - 出前講習（新規） 154千円
 - 指導者資格取得経費助成 30千円
- ③講習会等 全国で活躍できる選手の育成に貢献することを目的に、新庄最上体育協会連絡協議会との共同事業（285千円）と野球技術、意欲向上を図ることを目的として児童生徒対象にした野球教室（311千円）の開催

（2）スポーツ少年団育成事業 事業費1,082千円

スポーツ少年団は、少子化の中にあって団員数が増減を繰り返す現状にあります。市児童数、団員数が減少する中、郡内中学校部活や少年団活動の種目減少等が影響し、市加入率が減少する反面で加入者数が増となるのが次の表から見られます。これらの受け皿となり、より窓口を広くして活動主体である団員数の維持・拡大のために各団の健全な活動継続を支援に取り組みます。

■スポーツ少年団団員数の推移（中学生含む）

H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3
7 2 4	7 6 4	7 5 3	6 4 1	6 1 1	5 5 1	5 7 7	5 4 7	5 9 5

■小学生の加入率の推移（小学生団員数／小学生全学年）

H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3
28.0%	23.6%	24.3%	25.2%	25.2%	23.8%	26.1%	24.7%	23.7%

①活動あり方について

- ・練習が生徒・児童の過度の負担にならないように新庄市教育委員会発出の「新庄市における部活動の在り方に関する基本方針」を本部員会議等を通じて各団に周知と理解に取り組みます。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、日本スポーツ協会、山形県、新庄市の感染防止対策に関する通知等を各団に速やかに周知します。

②新年度のスタートの時期に、スポーツ少年団の趣旨を再認識し、やる気の高揚を図るため「結団式」を行うとともに、地域貢献として「美しい山形・最上川フォーラム」と協働し“スポーツGOMI拾い”を実施します。

③各団に活動助成金1団2,000円の交付

④最上地区を代表して山形県少年少女スポーツ交流大会に出場する団に、監督・コーチを含め、参加費の全額助成を行います。

⑤指導者が子供の小学校卒業とともにスポ少から離れる指導者の減少を目的に、指導者資格を喪失しないようにする市本部登録制度により、継続して活動する環境づくりを進める。

- ・山形県本部登録料 620千円
- ・山形県少年少女スポーツ交流大会参加助成金 105千円
- ・団育成助成金 85千円
- ・負担金等 51千円
- ・事務局費 221千円

■主な日程

- 4／29 令和4年度新庄市スポーツ少年団結団式・スポGOMI大会in新庄
 4～7月 令和4年度スポーツ少年団登録
 6月 新庄市スポーツ少年団本部員会議
 8／9～11 山形県スポーツ少年大会・ジュニア・リーダー・スクール
 (金峰少年自然の家)
 10月2日 山形県少年少女スポーツ交流大会
 10月 スタートコーチ養成講習会〔最上地区〕
 11／12 山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会（酒田市）

(3) 体育表彰事業 事業費 282 千円

表彰規程に基づき、新庄市のスポーツ普及振興に功績のあった方、選手育成に顕著な実績をあげた方、各種競技会において優秀な成績を収めた選手を顕彰します。

(4) 最上地区共同強化学業 事業費 103 千円

山形県体育協会助成金を活用して、最上地区市町村の体育協会が共同して選手強化を図る。

○地区共同強化事業費 103千円

・山形県体育協会負担金 83千円・最上地区体育協会連絡協議会負担金 20千円

〔1-3〕 サイクルスポーツセンター管理事業

(1) 維持管理事業 事業費 250 千円

東日本大震災による走路の一部が崩落したことから平成25年7月末に休止し、その後復旧を断念し、平成31年3月31日をもって廃止した。施設は有姿除却として処理したことから、建物及び構築物は引き続き存在しており、今後も、安全管理、環境保全の管理を継続する。

2. 施設管理事業

(1) 新庄市スポーツ施設指定管理事業 事業費 115,353 千円

令和3年度に令和7年度までの5ヵ年の期間で新庄市スポーツ施設の指定管理者に指定され、2年目を迎えます。また、管理施設は令和4年度から4年間「北辰屋内運動場」が新たに追加指定されたことにより10施設から11施設に1施設増となります。

新庄市体育館	新庄市陸上競技場	新庄市民球場	新庄市武道館	新庄市テニスコート
新庄市民プール	新庄市民スキー場	福田運動広場	福田テニスコート	横根山運動広場
新庄市北辰屋内運動場				

これら施設は、新庄市が市民の体育の普及振興を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的に設置する「公の施設」であり、民による公益の担い手として利用者のニーズに適切に対応しながら効果的で効率的な管理運営を強く求められています。

令和4年度の指定管理施設は、新たに1施設が加えられ、これまで経験のない施設の管理運営を委ねられました。これには、培ってきた管理ノウハウをベースに改善努力を重ね、地域との協働に努めて設置者の信頼に応えて参ります。

一昨年来の新型コロナウイルス感染拡大や集中豪雨等自然災害など、緊急の対応・措置を速やかに判断し講じなければならない突発的事案が発生しています。指定管理者に求められるのは、緊急時において利用者の安全確保、避難誘導など緊急時の対応であり、そのため職員の資質向上は欠かせません。日頃から、ヒヤリハット・危険予知訓練や災害等への対応訓練に取り組むほか、施設管理における先進地視察や研修で得た知見を組織内で共有化するなど安全管理のための諸対策を講じます。

また、「公の施設」として、公平で公正な利用機会を確保し、利用者の満足度に貢献できるよう運営と施設維持の両面から職員の能力開発に努力します。

改善するべきところは改善し、市民が安心して安全に利用できる施設管理に最大限の努力し、有意義な提案と実行を可能ならしめる体制整備を進めて参ります。

○新庄市体育施設の指定管理に関する事業費（予算）

単位：千円

	市民球場	武道館	体育館	プール	屋外施設	スキー場	北辰屋内	合計
利用料	1,242	486	805	203	1,571	3,269	183	7,759
指定管理料	25,059	6,298	23,135	4,021	12,491	31,158	5,697	107,859
管理経費	20,094	4,004	40,819	3,837	9,986	31,833	4,780	115,353

(職員人件費は体育館に一括して計上しているため、体育館の管理経費が膨らむことにご注意ください。なお、管理費用に不足する収入(利用料+指定管理料)は、自動販売機収入等を充当する。)

(2) 最上中央公園指定管理事業 事業費 25,673 千円

山形県立公園「最上中央公園(すばーていあ含む)」は、平成27年度から山形県の指定を受け、管理運営にあたってきており、さらに令和4年度からは新たな指定期間5年間(令和8年度まで)が始まります。市街地にあって広い緑の空間を提供し、芝生の公園散歩等市民の憩いの場としてご利用いただき、また、屋内運動施設「すばーていあ」を備えて、季節を問わず、特に降雪期の活動場所など冬季の活用も図るなど一年を通じてご利用いただいています。さらには、新庄雪まつりの会場としても定着してきています。

最上中央公園は、最上圏域の都市公園施設として県民の憩いの場として整備された公園であり、花・緑推進活動、スポーツ活動を主に自主事業を展開し、圏域住民から親しまれる公園づくりを進めます。また、自主事業を積極的に実施し、新庄雪まつりに協力します。

○最上中央公園の指定管理に関する事業費

利用料 3,088千円 : 指定管理料 21,115千円 : 管理経費 25,673千円

※管理経費は2人分の人件費を計上しているが、内1人はスポーツ振興事業との兼務とするため兼務率により1人分の人件費を按分する必要がある。この按分による費用確定は、事務手続きが繁雑となるため山形県の下承を得て、決算時に一括して行う。

○《自主事業》

市民植栽事業・スポーツGOMI拾いin新庄・タグラグビーをやってみよう・ワークショップ・スケートジャンキー

協力事業) 新庄市主催の雪国ワンダーランド・新庄青年会議所主催の新庄雪まつり

(3) 新庄市都市公園管理事業 事業費 16,330 千円

新庄市から委託を受けた都市公園施設及び緑地37カ所(委託料収入20,848千円。小規模緑地7カ所増)業務を適切に管理する。

最上公園	東山公園	歴史センター脇広場	八幡公園	福田緑地	中央公園	金沢公園
末広公園	足達前公園	常葉町公園	谷地田公園	下田公園	中道公園	千門町公園
沼田公園	中の川公園	金沢東公園	小檜室1号公園	小檜室2号公園	玉の木緑地	
横町緑地	上金沢緑地	往還東緑地	横根山工業団地緑地	新町緑地	駅前ふれあい広場	
駅東口交通広場	泉田川河川公園	西山河川広場	新田川河川公園			
令和4年度増) 横町、仲山町、清水川、宮内町、千門町、松本及び前野の小規模緑地						

(4) 新庄市公有財産管理事業 事業費 2,068 千円

新庄市から委託を受けた仁間処理場跡地・ポリテクセンター跡地の一部・萩野児童館跡の維持管理(委託料収入1,276千円)を適切に管理する。前年度比363千円増となった。これは管理作業量の増と都市公園管理事業と一体的作業により効率化を図るため委託経費増としたことにより。

3. 法人管理事業

○法人管理費 6, 496千円

(1) 内部統制の確立

「民の立場での公益増進の担い手」という課せられた役割を踏まえ、透明性の確保など公益的法人として求められる内部統制を確実に果たして参ります。

協会内部では、市関係規程と協会規程の習熟に努め、組織内の情報共有を確実に実行し、外部との情報交換は文書によることを原則に業務を進めます。

また、職員が、自発的で自律的な課題整理、計画立案機能をもって業務に当たることを目的に、事務局に施設管理部門Gとスポーツ推進Gを置き、必要に応じて協議し、配置の異なる職員間の意思疎通を高め、目的の共有を進めます。

(2) 法人の健全・安定運営

① 自主財源の確保に努めます。

- ・受託事業（都市公園管理事業・公有財産管理事業）の効率的実施
- ・その他収益事業の実施（自動販売機設置管理事業等）

施設利用者のサービス向上を共通の目的に、当協会と設置事業者が適切な役割分担の基に自動販売機設置事業やレンタルスキー事業等のサービス提供を共同運営します。

② 職員のスキルアップのため研修及び資格取得に注力します。

③ 基金の計画的積立て及び活用を図ります。

2 基金の活用及び積立については、将来にわたり安定的に組織を運営できるよう、可能な限り積み立て、目的に即して積極的に活用する。なお、法人運営基金の減少は理事会の承認を受けて法人運営基金を取り崩し、令和3年度に軽ダンプ車2台の購入費用に充てたことによります。

《各基金の現在高》令和4. 3. 15現在

スポーツ振興基金 6, 849, 103円（前年度比117円増）

法人運営基金 11, 371, 724円（前年度比▲2, 838, 209円）

令和4年度予算書の概要

《収入の部》

(千円)

項目	予算額	R3比	説明
1 基本財産・特定資産・受取利息	3	0	預金利子
2 負担金	1,000	28	
(1) 加盟競技団体負担金	255	▲15	
(2) スポーツ少年団登録料	745	43	
3 賛助会員会費	100	0	
4 新庄市補助金	10,900	0	新庄市から
5 新庄市総合体育大会実施委託料	915	0	新庄市から
6 指定管理委託料	128,974	6,405	
(1) 新庄市スポーツ施設	107,859	6,405	新庄市指定
(2) 最上中央公園	21,115	0	山形県指定
7 利用料金	10,847	▲161	
(1) 新庄市スポーツ施設	7,759	▲149	コロナ感染の影響
(2) 最上中央公園	3,088	▲12	
8 新庄市都市公園管理業務委託料	20,848	2,177	新庄市との委託契約
9 新庄市公有財産管理業務委託料	1,276	243	新庄市との委託契約
10 自動販売機設置料	2,000	140	
(1) 新庄市スポーツ施設	1,750	150	
(2) 最上中央公園	250	▲10	
11 自主事業収入	220	5	自主事業参加費他
12 雑収益	397	▲148	
計	177,480	8,689	

《支出の部：事業費別》

(千円)

	予算額	R3比	説明
1 スポーツ振興費	12,903	524	
(1) スポーツ普及推進事業費	2,959	631	新規事業5件
(2) 育成強化事業費	3,927	150	
(3) サイクルスポートセンター費	250	0	
(4) スポーツ振興総務関係費	5,734	▲257	給与改定・税等
(5) 減価償却費	33	0	
2 新庄市スポーツ施設管理事業費	115,353	5,051	
(1) 施設管理事業費	115,061	5,091	指定管理施設1増
(2) 減価償却費	292	▲40	
3 新庄市都市公園管理事業費	16,330	1,737	
(1) 施設管理事業費	15,359	1,564	契約単価の引上げ
(2) 減価償却費	971	173	軽ダンプ2台分増
4 新庄市公有財産管理事業費	2,068	363	
(1) 施設管理事業費	2,021	395	委託費増
(2) 減価償却費	47	▲32	
5 最上中央公園管理事業費	25,673	778	人件費・委託費増
6 法人管理費	6,496	337	給与改定・職員研修費
計	178,823	8,790	

予 算 説 明

《全体》

- 令和4年度予算は、令和3年度当初予算と比較して経常収益では8,689千円増の177,480千円に、経常費用では8,790千円増の178,823千円を計上しました。
経常収益を超過する経常費用額1,343千円は全額減価償却費です。
- 経常収益では、新たに北辰屋内運動場の指定管理者の指定を受けたことなどから指定管理事業収益が前年度比6,405千円増収となり、また、受託収益事業では、受託単価の見直しと小規模緑地の新規受託等により2,420千円増収となり、これら2事業が収益の大幅な増加につながりました。その他、新型コロナウイルス感染の拡大が終息しない中、利用料金収入は前年度比▲161千円とし、自動販売機収入も微増で見込んでいます。
- 経常費用は、収益増に対応して比較的大きな費用増となりました。主な増額は、石油価格の上昇を見込み燃料費を前年度比1,100千円増、北辰屋内運動場夜間日直管理や都市公園・緑地管理面積の増に対応して委託費7,367千円増を計上しています。また、スポーツ振興事業は新規事業費を計上し総額12,903千円、前年度比524千円増の事業費計上を行ないました。この結果、経常費用の総額は8,790千円増の計上となりました。
- スポーツ振興事業及び法人管理事業では合計6,270千円の支出超過となっています。この超過分は、指定管理事業、受託事業及び自動販売機収入の収益事業で賄う予算となっています。

《収入内訳》

- 利用料金の施設内訳は以下の表のとおりです。

施設名	令和4	令和3	増減	施設名	令和4	令和3	増減
体育館	805	875	▲70	屋外施設	1,571	1,512	59
野球場	1,242	1,228	14	北辰屋内	183	0	183
武道館	486	551	▲65	市施設小計	7,759	7,908	▲149
プール	203	242	▲39	最上中央	3,088	3,100	▲12
スキー場	3,269	3,500	▲231	合 計	10,847	11,008	▲161

市施設は、市において令和2年度までの5年間の平均利用料額から令和2年度の利用料改定による減収額を差し引きして算定された利用料額を基本に、コロナ感染対策による利用制限の影響を加味して抑制的に計上した結果、利用料収入全体では前年度比161千円の減収となりました。

- 新庄市都市公園管理委託料20,848千円（2,177千円増）
都市公園の管理受託事業において最上公園及び東山公園の草刈傾斜地単価が採用されたこと、7か所の小規模緑地の受託地増により前年度比2,177千円の増を見込んでいます。
- 新庄市公有財産管理委託料1,276千円（243千円増）
作業量の増による増収を見込んでいます。
- 新庄市補助金 10,900千円（増減無）
- 新庄市の指定管理料107,859千円（6,405千円増）
 - ①北辰屋内運動場の新規指定 5,697千円皆増

- ②燃料費 806 千円増
- ③委託料 シルバー人材センター委託料単価引上げ対応 272 千円増・市民球場スコアボード点検委託（機器更新）1,859 千円増・市民球場公共下水道への接続で浄化槽管理委託▲497 千円
- ④消耗品 2割シーリングにより▲363 千円
- ⑤修繕料 ▲497 千円（実績勘案）
- ⑥賃借料 ▲733 千円（実績勘案）
- 山形県の指定管理料 21,115（増減無）
令和4年度が新たな5年間の指定期間の初年度である。原則として指定期間内の指定管理料は同額であり、額は令和3年度と変更なく21,115千円となった。
- 自動販売機設置料収入 2,000 千円（140 千円増）
コロナ感染対策による大会及び観客入場制限により利用回復は抑制的に見込みました。
- 自主事業収入 220 千円（5 千円増）
体育協会主催の自主事業、最上中央公園自主事業の参加費収入であり、実績額を参考に見込んだ。
- 雑収益 浮き輪貸出し・ゴーグル販売、そり貸出しなどの収益を確実な範囲で見込んだ。

《支出》・・・支出の主な内容は次のとおり。

- スポーツ振興費 12,903 千円（524 千円増）
 - ・スポーツ普及推進事業費 2,805 千円（427 千円増）
4つの新規事業に452千円を計上し、事業費目は講師の旅費80千円増、広報印刷製本費230千円増、謝金92千円増を計上。
 - ・育成強化事業費 4,081 千円（304 千円増）
育成強化費交付団体11団体（1増）1,650千円（150千円増）、新規に「出前講習」（154千円）、「基礎的運動機能強化事業」に174千円、地区体協共同事業に285千円、「野球教室」に311千円をそれぞれ計上。
 - ・サイクルスポーツセンター管理事業 250 千円（増減無）
除草等環境整備と舗装面の亀裂管理を実施します。
 - ・総務費▲257 千円 配置職員人件費の差が減少となったが、決算時に業務従事割合による人件費の按分により予算額を上回る場合があり、その場合は按分により減少する事業費から補填します。
- 都市公園管理事業 16,330 千円（1,737 千円増） 主に委託費について前年度実績と受託面積の増に対応して1,664千円増とした他、研修費用負担金計150千円増、旅費72千円を計上。
- 公有財産管理事業 2,068 千円（363 千円増）
臨時職員賃金改定による増額96千円と委託費増250千円を計上。
- 管理費（法人） 6,496 千円（337 千円増）
法人名称の変更に要する経費（消耗品92千円：印刷製本費100千円増）を計上。

○指定管理事業費の施設内訳は、以下の表のとおりです。

施設名	令和4	令和3	増減	施設名	令和4	令和3	増減
体育館	40,819	42,417	▲1,598	屋外施設	9,986	9,644	342
野球場	20,094	19,088	1,006	北辰屋内	4,780	0	4,780
武道館	4,004	3,934	70	小計	115,353	110,302	5,051
プール	3,837	4,388	▲551	最上中央	25,673	24,895	778
スキー場	31,833	30,831	1,002	計	141,026	135,197	5,829

市施設 115,353 千円・5,051 千円増、県施設 25,673 千円(人件費按分前 778 千円増)・計 141,026 千円、5,829 千円増としました。市算定の指定管理料を基に経費を見積もり、市の人件費基準額と本協会給料表に基づく人件費との差額を上積みし、北辰屋内運動場の新規指定により事業費として 4,780 千円(皆増)を見込んでいます。主な費目の額と増減は以下のとおり。

- ①燃料費 5,270 千円(1,080 千円増・市基準額に 274 千円上乘せ)
- ②委託料 市基準額 25,585 千円に実績を参考に 27,866 千円、前年度比 5,383 千円増を予算計上した。北辰屋内運動場の夜間休日管理に日中管理の一部をシルバー人材センターに委託する費用 1,647 千円を市算定基準の人件費から振替し、体育館除排雪委託に 282 千円を上乘せ計上しています。
- ③市民スキー場の光回線によるネット環境の整備費用として通信運搬費及び修繕費に各 100 千円を上乘計上しています。